

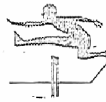
事業にはライフサイクルがあり、そのまま放置しては必ず衰退のときがきます。経営者は環境変化に合わせて常に新規事業を模索していかなければなりません。などと言うのは当たり前の話です。名古屋挑戦型企業塾において



も、参加している経営者の皆様は長期的な視点を持つ重要性を理解して日々勉強に取り組んでおられます。

新規事業開発は長期的な取り組みになりますから、結果がすぐに出るものではないませ

ビジネス・イノベーション



挑戦する中小企業

7

ん。ある程度の投資も必要になります。し、日常の多忙さに追われて億劫になる方もいらっしゃると思います。しかし今回は絶対に見過ごしてはならない、新規事業への取り組みが生み出す副産物について紹介していきたいと思います。

ユーアイ精機株式会社という尾張旭市にある会社では、主に自動車のプレス部品の試作対応を行っています。先代の社長が亡くなり、現在の水野社長が会社を引き継いでか

新事業開発が生み出す副産物

らは様々な新規事業への挑戦を行っています。2012年からはマグネシウム合金のプレス加工に関する研究開発を行っています。自動車の軽量化が進んでいる昨今、マグネシウムという軽量部品を使われる時が来るのではないかと考えているのです。マグネシウムはかなりの難加工材ですが、試行錯誤を重ねた結果、ある程度の成果を得られた形となりました。

しかし「実際のビジネスに

は至っていない(笑)」と水野社長は話されます。それでも「ビジネスに結びつくかどうかはともかく、実験結果を元に顧客と同じ土俵で話せるようになった」「展示会へ出展すると分かる人には会社の開発力や技術レベルを理解してもらえると前向きにとらえています。結果として、展示品とは違う本業の業務の受注が増えていることです。

また、今年になってから、金属とCFRPをプレスだけ

います。CFRPとは炭素繊維強化プラスチックのことです。これもまた自動車のみならず航空機や他の産業分野でも軽量化には外せない素材です。この話を聞いた時には、私はとてもワクワクしました。そこで働く従業員の皆さんも同じ気持ちであらうかと思えます。自社に誇りを持ち、自信になり、求心力が高まるのではないかと感じます。技術者のやりがいもあります。

私がこのような会社の従業員だったらと考えると、新規事業開発に自分が携わっていない場合でも、会社は未来があるのだと信じて、頑張れる気がします。「未来を信じていることができる」といっています。このことだと思いませんか。

未来信じる社風生まれ活性化

で接合してしまおうという取り組みを行っている。と、言うのは感無量であり、

【名古屋挑戦型企業塾】ディネーター 細谷 宏 (金曜日掲載)